



おおはし Michiko  
◆大橋みち子 議員

## 病児・病後児保育は

### 町長 保護者のニーズに寄り添う

答

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、病児・病後児保育施設及びファミリー・サポート・センターで利用できるクーポン券（1人につき4000円分）を配布。0歳から6歳までの未就学児童が対象となる。

問

子育て世帯支援クーポン券事業とは。

答

事業所がホームページを開設。町では広報 ホームページ、子育て応援サイト「ようろうっこ」に掲載。利用するには「病児保育ネット予約サービス」あずかる「ちゃん」にて予約する。

問

病児・病後児保育施設の周知は。また利用方法は。

答

利用会員と提供会員の相互活動となり、会員登録が必要である。利用会員の世帯は、町に住民登録があり、生後1ヶ月から小学校6年生までの子ども世帯。サポート内容は、一時預かり、送迎、訪問託児、学校行事、医療機関を受診する際の預かりなどがある。

問

ファミリー・サポート・センターとは。

小さいお子さんを持つ保護者の「困った」をサポートする「病児・病後児保育施設」、「ファミリー・サポート事業」で、町の子育て支援の充実を図る。



病児病後児保育施設 Support you



しみず ゆみこ  
◆清水由美子 議員

## 今後の移住への取り組みは

### 町長 引き続き調査・研究に努める

答

空き家バンクの活用のみならず、古民家再生に精通した団体・アドバイザーとの連携により、魅力ある住空間

問

ヨロフィスの取組みを踏まえ、今後の空き家・移住への施策は。

答

移住者に定住していただき、管理が行き届かない空き家の増加を抑止、地域の活性化に繋げるが第一目的。

問

バンク活用は、定住目的とあるが、店舗としての活用は。

答

平成29年度から令和7年5月末までの登録件数は、空き家23件、空き地13件。空き家6件が契約に至った。

問

空き家空き地バンク利用実績は。

答

現在は利用希望者はいないが、希望者の動向、地域ニーズを注視しながら、農業委員会等と連携のうえ、実現可能性について研究していく。

問

今後、都市部からの移住を呼び込む「農地付き空き家」の取組みは。

間や事業拠点の創出も視野に入れる。地域活性化、移住定住促進を調査研究する。



YOROffice HPより抜粋

## 一般質問

# 町の考えを問う

9人の  
議員が登壇

6月定例会では9人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のQRコードより一般質問の録画放送をご覧頂けます。

| 質問議員                   | 質問事項                                                               | ページ |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----|
| おおはし Michiko<br>大橋 みち子 | ◎病児・病後児保育は                                                         | 9   |
| まつなが たみ お<br>松永 民夫     | ◎ 旧町民プールの福祉施設構想は<br>◎ 不登校とひきこもり対策は                                 | 10  |
| しみず ゆみ こ<br>清水 由美子     | ◎ 今後の移住への取り組みは                                                     | 9   |
| いわなが よしひと<br>岩永 義仁     | ◎ テレワーク施設の運営状況は<br>◎ 新設される橋爪大橋は<br>○ 給食費無償化の実施は<br>○ こどもの権利条例制定を提案 | 11  |
| さの しんや<br>佐野 伸也        | ◎ 譲渡計画終了後の改良住宅は                                                    | 12  |
| のむら えいいち<br>野村 永一      | ◎ 独自ビジョンの具現化は                                                      | 12  |
| みずたに くみ こ<br>水谷 久美子    | ◎ 国保も資格確認書を全加入者に<br>◎ 相続登記の義務化対応は<br>○ 養老中央公園の環境整備は                | 13  |
| よしだ たろう<br>吉田 太郎       | ◎ 山林火災対策は                                                          | 14  |
| にしわき やすし<br>西脇 康       | ◎ 農業の現状と今後は                                                        | 14  |

＜注＞○印の内容は編集上掲載していません。